

下原委員（草莽の会）

平成 30 年 3 月 7 日

教育長 答 弁 実 録

（ 教 育 委 員 会 ）

（問） 是正指導以降の本県教育の取組について

平成 10 年の文部省からの是正指導以降，教育県広島の再興に向けて，歴代教育長がどのように取り組んできたのか，教育長に伺う。

（答）

本県教育は，平成 10 年，当時の文部省からは正指導を受け，以来，教育の中立性と公開性を柱に，県民から信頼される公教育の実現に向け，私を含め 5 人の教育長が，様々な改革・改善に取り組んでまいりました。

この間，まずは，当時の文部省からの指摘事項の是正に取り組み，その後，是正から改革へと軸足を移し，「学校評価制度」の導入など，教育改革のための「仕組みづくり」に取り組むとともに，「ことばの教育」の推進や，「道徳教育」の充実，総合的な学力向上対策など，「教育の中身づくり」に取り組んでまいりました。

この結果，全体として公教育の基盤が整い，現在では，様々な面で全国に先駆けた取組を推進するところまで来ております。